

★まちの話題 MY TOWN TOPICS

蔵之元小学校

★掘りたてのジャガイモを届ける

2月10日、蔵之元小学校（山田哲夫校長・児童数66人）の学校農園で、ジャガイモ掘りが行われました。昨年10月に植えたジャガイモを、この日は全校児童で収穫。収穫したジャガイモは、その日のうちに長生園、あかね園の2つの福祉施設へ児童代表が教員と一緒に、それぞれ20キログラムずつ届けられました。

あかね園を訪れた、大堂秀吉さんは「おいしく召し上がってください。これからも元気でいてください」と話し、一緒に訪れた有馬敏暉さん、江口倭斗さんとともに、利用者へ掘りたてのジャガイモを手渡しました。

→収穫したジャガイモをみんなで運搬



↑ジャガイモを手渡す児童

日本財団、ヘルパー車を寄贈

★地域福祉の向上に

2月26日、日本財団から特定非営利活動法人ふうしゃにヘルパー車1台が贈呈されました。

このヘルパー車は、今後、利用者宅の訪問時などの移動車両として活躍します。

贈呈を受けた京田一則代表は「福祉車両の整備は、私たちにとって必要不可欠なものであり、今回の寄贈は非常にありがたい。さらに地域に根ざしたサービスの充実につとめたい」と喜びました。

読み聞かせサークル「おやどり読書会」

★鷹巣小学校で本の読み聞かせ

2月17日、鷹巣小学校では朝読書の時間に、読み聞かせサークル「おやどり読書会」（下平忍代表）による、本の読み聞かせが行われました。

このサークルは、人に本を読んでもらうことで、本への関心を持ってもらい、大人になってからもこの経験から地域に貢献するきっかけづくりにしてほしいという思いから平成26年に発足。現在は地域ボランティアを含め約30人のメンバーで構成されています。

この日は、5人のメンバーと獅子島の子落とし塾の大学生2人もボランティアで参加し、各学年に分かれて読み聞かせを行っていました。

下平代表は「読み聞かせは、読み手によって雰囲気が変わり、毎回、新鮮な気持ちで話を聞くことができる。今は、鷹巣小学校で1学期に1回ずつしかできていないが、今後は他校でも活動していきたい。読み聞かせをするメンバーを随時募集しているので、興味のある人は気軽に連絡をください」と話していました。



↑読み聞かせに聞き入る児童



↑贈呈を受ける京田代表（写真左）